# 建築人

6

2017

# 大阪ホンマもん

# 記憶の建築

## 松隈　洋

### 東京市中央卸売市場築地本場　1934年
### 帝都復興事業の建築遺産の行方

日本を代表する卸売市場として一九三五年二月に開場し、以来八〇年以上にわたって使われてきた築地市場は、二〇一六年五月に竣工した豊洲市場への移転によって、長い歴史に幕を閉じる予定だった。しかし、土壌汚染の問題などが噴出し、東京都は八月に急きょ移転延期を表明した。いまだその行方は不透明なままだ。そんな中、やはり一度は現地を見ておきたいと思い、四月中旬に立ち寄った。というのも、この建物は二〇〇三年に日本を代表する近代建築として、DOCOMOMO一〇〇選に選ばれており、その選定に携わっていたからである。展覧会の図録に掲載された藤岡洋保氏の解説文には、次のような特徴が記されている。

「当時では世界最大規模の市場で、独特の扇形配置は、長い編成の貨物列車からの荷下ろしを容易にするために考案されたものである。主要建物は鉄骨造で、それが円弧状に連続し、壁に遮られることなくひとつにつながっているユニークでダイナミックな空間である。鉄骨で覆われた仲買人売場は日本における最大級の鉄骨架構であり、近くの勝鬨橋とともに、戦前の鉄骨造の技術を象徴するものである。」（『文化遺産としてのモダニズム建築 DOCOMOMO一〇〇選展カタログ』新建築社二〇〇三年）

この説明を頼りに、地下鉄都営大江戸線の築地市場駅で降り、地上に上ると、目の前に幅四五〇m、奥行三〇〇mほどの街区全体を占める広大な築地市場が見えてくる。平日の朝にもかかわらず、周囲にはすでに外国人観光客があふれ、騒然とした熱気に包まれており、思わずたじろいでしまう。最新版の『築地市場概要』によれば、二〇一五年の見学者数三万五千人のうち外国人は六十五％に上る。だからなのだろう。五か国語表記の構内地図が配られ、そこには、「築地市場は小売をするマーケットではなく、観光地として作られた施設でもありません。（中略）生鮮食料品をプロ向けに供給する基地として東京都が開設し、民間事業者が営業しています。ここで行われていることは、ショーではなく、ビジネスです。皆さんは、ここで働いている人たちを尊重し、彼らのビジネスの支障にならないように」と注意書きされていた。

この記述の通り、北西の正門から暗い駐車場のピロティを中へ進むと、突然に視界が開け、目の前をターレット（自動運搬車）とフォーク車が右に左に激しく行き交う、供給基地として稼働する活き活きとした光景が現われる。概要によれば、一日の入場人員四万人、入場車両数一万八千台、一日の平均取扱高は、水産物一六〇〇トン、青果物一〇〇〇トンに上るという。セリが終る一〇時からは売場の一部で見学者の立ち入りが許可される。そこで、竣工時の面影をとどめる水産物部仲卸業者の売場へと足を踏み入れると、そこには、約六〇〇の仲卸が軒を並べ、扇形に続く一万二千㎡の空間が広がり、その大きさに圧倒される。

それにしても、これほどの規模の市場はどのようにして建設されたのだろうか。竣工時に発行された『東京市中央卸売市場築地本場・建築図集』（東京市役所一九三五年）という立派な図集がある。その「序」で、当時の東京市長は、次のように記していた。

全長約 350m に及ぶ水産物部仲卸業者売場の北西端部

内観。床には花崗岩の石畳が今も残る。

「近時産業の発達に伴う人口の都市集中は幾多の重要なる問題の解決を吾人に提供して居る。就中都市生活者の日々の食料品配給問題の解決は最も重大なるものの一つである。現在我国に於ける都市生活者は総人口の四割以上に達し、これ等都市生活者が消費する生鮮食料品は挙げて農漁村に供給を求めねばならぬのであって、此の消費及供給の問題は、国民の保健衛生上並に経済生活上も瞬時も忽に出来ぬ所である。即ち都市に於ける生鮮食料品配給を円滑にし、其の価格の公正を図ることを目的として中央卸売市場が生れたのである。（中略）壱千五百万円の巨費を投し、水陸両運に最も利便なる京橋区築地の一角地積五万九千坪を卜し、理想的施設をなす事となり、着工以来五ヶ年、今や東洋一の大市場の出現するに至ったものである。」

築地市場は、一九二三年九月一日に起きた関東大震災によって民営の市場が焼失したため、復興事業の一環として建設された。同潤会アパートや復興小学校などと共に、日本が近代都市へと転換する一大事業の最後を飾るモダンデザインの建築だった。同じ図集には、建設に従事した職工が四十二万人、鉄骨六千八百トン、鉄筋三千四百トン、セメント十三万樽が使われたと記されている。しかし、こうして誕生した世界的スケールの市場は歴史に翻弄されていく。一九三七年の日中戦争以降は統制経済が引かれ、一九四一年十月には仲買人制度が廃止されて配給機関にされてしまう。続く東京大空襲にも耐えたが、敗戦後は進駐軍に四分の一が接収されて洗濯工場に転用され、ようやく一九五五年三月の返還で市場としての機能を回復し、現在へ至るのだという。

豊洲への移転という議論の中で、以上のような帝都復興の下で人々の生活を守ろうとした設立の背景や積み重ねられてきた歴史はどこまで共有されてきたのだろうか。幸いにも、移転が前提だったこともあり、築地市場を紹介した本や写真集も揃っている。今こそ多くの人にこのかけがえのない建築遺産を訪れてみてほしいと思う。

**松隈　洋**
京都工芸繊維大学教授。博士（工学）。一九五七年兵庫県生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。

建築士の会 東大阪
### 近畿大学アカデミックシアター見学会&講演会・活動報告会
6/17　CPD3単位（予定）

近畿大学アカデミックシアターは、東大阪キャンパスの新たなシンボルとして「ホール」「教室」「カフェ・ラウンジ」「閲覧室」「事務室」を一体的に配した学術拠点であり、中でも図書館機能を担うビブリオシアターは編集工学研究所の松岡正剛氏による監修です。
見学後、講演会+「建築士の会東大阪」活動報告会を行います。報告会終了後は懇親会も予定しています。
日時　6月17日（土）　集合　13:45
　集合場所　近畿大学東大阪キャンパス西門
　（大阪府東大阪市小若江3-4-1）
　見学会　14:00～
　講演会・活動報告会　15:30～
　懇親会　17:00～
募集　30名（申し込み先着順）
参加費　1,000円（資料、保険、飲物代含む）
　懇親会参加は別途4,000円程度必要
※懇親会参加の有無を明記のこと!
懇親会参加申込締切　6月12日（月）午前中

建築士の会 いずみ野
### 総会+施設見学会「越井木材本社工場見学会」
6/17　CPD2単位（予定）

住之江区にある越井木材工業㈱の施設見学会です。不燃木材加工技術を有する同社の工場見学をさせていただくことになりました。特別な機会ですので、是非ご参加ください。
日時　6月17日（土）　12:30～17:00
集合場所　南海本線「住吉大社駅」改札口
募集　30名（申込先着順）
参加費　4,000円（懇親会費含む）
※施設見学のみの場合は1,000円
内容　受付開始　12:30～
　総会　13:30～14:00
　工場見学会　14:00～16:00
　懇親会　17:00～18:30
※懇親会参加の有無を明記してください。

建築士の会 堺
### 泉北ニュータウンまちあるき
6/25　CPD3単位（予定）

建築士の会堺では、泉北ニュータウンの現状と再生の取組説明を受けた後で、地域住民に愛されている夏色の泉ヶ丘緑道を歩きます。終了後は、懇親会も予定しています。当日は、泉ヶ丘広場で「堺よさこいかえる祭り」もご覧いただけます。
日時　6月25日（日）　14:00受付・開始
　14:00～15:00
　国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）中研修室3
　15:00～16:30　泉ヶ丘緑道他散策
　16:30～18:00　懇親会
定員　20名（申込先着順）
参加費　会員500円　会員外1,000円
　（資料代、保険代含む）
※バスの乗車券は各自で購入してください。
※懇親会参加は別途4,000円程度必要

建築士の会 北摂
### 市立吹田サッカースタジアム見学会
7/1　CPD2単位（予定）

市立吹田サッカースタジアムはJリーグ・ガンバ大阪の本拠地となる国際基準のサッカー専用競技場で、「寄付金でつくる日本初のスタジアム」として建設されました。技術的な解説はもちろん、普段では聞けない完成までの苦労話など、興味深い説明を交えての見学会となります。見学終了後は、千里中央にて「建築士の会北摂」の活動報告会を兼ねた懇親会も企画しています。
日時　7月1日（土）　集合　13:00～
　見学　13:30～15:30　懇親会　17:00～
集合場所　市立吹田サッカースタジアム
募集　35名（申し込み先着順）
参加費　会員1,500円　一般2,000円
　（資料代含む）
※懇親会参加は別途実費負担

### 第61回大阪建築コンクール
受賞者講演&ディスカッション
7/14

第61回大阪建築コンクール受賞者の作品のお話はもちろん、建築に対するそれぞれの思いを語っていただきます。また、審査委員とのトークセッションも予定しております。
日時　7月14日（金）　19:00～21:00
会場　関西大学梅田キャンパス4F
　Me RISEラボ
　大阪市北区鶴野町1-5
出演者（予定）
　大阪府知事賞：横関正人・横関万貴子、柳川賢次、特別賞：児玉謙、奨励賞：堤庸策
　遠藤秀平審査委員長、審査委員
定員　80名
参加費　無料

**本会の催し参加問合・申込先**
大阪府建築士会事務局
〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17
高田屋大手前ビル5階
地下鉄「谷町4丁目駅」1-B出口すぐ
TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103
メール info@aba-osakafu.or.jp
HP http://www.aba-osakafu.or.jp/

## Administration
行政からのお知らせ

### 大阪府石綿飛散防止対策セミナー
6/28

本セミナーでは、石綿を使用した建築物等の解体等工事発注者及び施工者の皆様に参考となる石綿飛散防止対策等についてご説明します。
日時　6月28日（水）　14:00～16:00
会場　大阪府庁新別館南館8階大研修室
　大阪市中央区大手前3-1-43
定員　400名　参加費　無料
申込締切　6月27日（火）
　（但し、定員に達し次第締切）
問合　大阪府環境農林水産部環境管理室
　事業所指導課大気指導グループ
　Tel.06-6210-9581
HP　大阪府　石綿　検索

## Others
その他のお知らせ

平成29年度公社茶山台団地・香里三井C団地
### 住戸改善事業設計・施工業務事業提案競技
5/11～6/26

大阪府住宅供給公社では、茶山台団地・香里三井C団地において住戸リノベーションプランの提案を3業務に分けて求めます。
受付期間　5月11日（木）～6月26日（月）
　17:00まで
問合　大阪府住宅供給公社住宅整備部
　団地再生課再生グループ
　Tel.06-6203-5534（直通）
詳細は以下のホームページ上で公表しています。
http://www.osaka-kousha.or.jp/x-whatsnew/2017_chayama-kourimiic/index.html

### 「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」講習会
7/21　CPD2単位

バリアフリー設計のガイドラインである標記の「建築設計標準」（国土交通省策定）が、2017年3月に改正されました。改正に携わった有識者等を講師に講習会を開催します。
主催　（公財）建築技術教育普及センター
日時　7月21日（金）　14:00～16:30
定員　96名
会場　大阪国際会議場（グランキューブ大阪）1008
講師　東洋大学　高橋儀平教授
　国土交通省担当官
受講料　7,000円（税込・テキスト代含む）
テキスト　「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」
申込締切　講習日1週間前
　（但し、定員に達し次第締切）
申込方法　下記HPの受講申込書をFAX
http://www.jaeic.or.jp/koshuannai/barrierfree201705.html
申込・問合　（公財）建築技術教育普及センター
　近畿支部
　Tel.06-6942-2214

## 女性分科会三〇周年リレーエッセイ
### 女性分科会の存在意義について

委員　石貫方子

私は若い頃、女性だけで集まっても男女平等は進まないと思っていました。個々の女性が頑張れば、女性の社会進出は進み、明るい未来が待っていると思っていました。しかしその後約二五年たっても、会社の中心は相変わらずダークスーツばかり、建築団体も年上の男性ばかりで、女性分科会が発会した三〇年前と状況はあまり変わっていないように思います。世界各国の男女格差を調べたジェンダー・ギャップ指数二〇一六年の結果では、日本の男女格差は一四四か国中一一一位（二〇一五年一〇一位）、過去最低、先進国中最下位という結果でした。個々の女性が頑張ってもガラスの天井は厚いままなのでした。R・M・カンターの著書「企業の中の男と女」の中に「全体数の三割に満たないとマイノリティとなり、発言も認められにくい」という内容があります。女性が集まりたがるのは自分達の意見を聞いてもらえないからでしょうか。現在の士会では女性だけではなく青年もマイノリティとなりつつあります。これからの士会の存続のためにも、「だから女性たちは…」などと少数派をひと括りとせずに、一人一人の言葉に耳を傾けて、一人の人間として目を向けていただけないでしょうか。女性たちが「女性分科会なんかいらない」と言える、開かれた士会になりますようにと願っています。

平成29年新年交礼会

INFORMATION については本会ホームページにも掲載されています。
本会ホームページの WEB 申込システムから簡単に申込みができます。【詳細は大阪府建築士会ホームページ】http://www.aba-osakafu.or.jp/ まで

# Sponsorship
建築士会からのお知らせ

大阪府建築士会事務局
大阪府建築士事務所協会事務局

## 既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。
不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。
スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご活用ください。
（業務内容）
　耐震診断報告書の審査、評価
　耐震補強計画案の審査、評価 等
（対象建築物）
　公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。
（会員特典）
　申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。
詳細は、本会ホームページをご覧ください。

## 平成29年度建築士定期講習
**7/28、8/24、9/22、10/18、11/20、12/14**
**CPD各6単位**

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成26年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず受講してください。
日程・会場
　7/28（金）　大阪国際会議場
　　定員300名　会場コード5C-02
　8/24（木）　大阪国際交流センター
　　定員200名　会場コード5C-52
　9/22（金）　大阪府建築健保会館
　　定員90名　会場コード5C-03
　10/18（水）大阪国際会議場
　　定員200名　会場コード5C-53
　11/20（月）大阪府建築健保会館
　　定員90名　会場コード5C-04
　12/14（木）大阪府建築健保会館
　　定員90名　会場コード5C-54
時間　9:25～17:00
申込書必着日　7/28（金）講習：6/23（金）
　　8/24（木）講習：7/20（木）
　　9/22（金）講習：8/18（金）
　　10/18（水）講習：9/13（水）
　　11/20（月）講習：10/16（月）
　　12/14（木）講習：11/9（木）
※各回定員に達し次第、受付を終了します。
受講料　12,960円（消費税含）
申込書配布・受付場所

## 既存住宅状況調査技術者講習
**新規講習6/19、8/22、9/6　CPD各5単位**
**移行講習6/23、7/20、8/24　CPD各3単位**

平成28年2月に宅地建物取引業法が一部改正され、平成30年4月から既存住宅の売買時に「既存住宅状況調査」の説明が義務付けられる予定です。調査の実施は、登録機関の講習を修了した建築士のみに認められ、新たな建築士業務となります。なお、従来のインスペクター登録者は同調査を実施できませんが、その方々を対象に規定の講義の一部を免除した「移行講習」も開催します。ぜひこの機会に本講習を受講いただき、新たな建築士業務の資格を取得してください。
<新規講習>
日時　6月19日（月）、8月22日（火）
　　9月6日（水）　10:00～18:00
会場　大阪YMCA国際文化センター
　　各回定員200名（定員に達し次第締切）
受講料　WEB申込21,060円
　　郵送申込21,600円
<移行講習>
日時　6月23日（金）、7月20日（木）
　　8月24日（木）　13:00～17:45
会場　たかつガーデン
　　各回定員180名（定員に達し次第締切）
受講料　WEB申込16,740円
　　郵送申込17,280円
<申込方法>
日本建築士会連合会HPよりお申込みください。
http://www.kenchikushikai.or.jp/

大阪府知事指定講習
## 建築物省エネ法・省エネ設計技術講習会
**6/22、7/25　CPD各4単位**

2015年7月に建築物省エネ法が制定され、2017年4月から省エネ適合性判制度が導入されました。また2020年までに住宅を含むすべての建築物の省エネ基準への適合の義務化が予定されています。本講習では、本会の省エネ特別委員会作成、大阪府監修による「建築物の省エネ設計技術」をテキストとして、大阪府建築指導室担当官や執筆者等が講師を担当し、住宅・非住宅建築物の省エネ基準や評価方法、適合性判定制度、省エネ表示制度などの建築物省エネ法や、省エネ性能を向上させる設計技術についてわかりやすく説明します。
日時　6月22日（木）、7月25日（火）
　　13:20～18:00
会場　たかつガーデン
内容　①省エネ適合性判定制度・大阪府温暖化の防止等に関する条例の改正、②建築物省エネ法の概要・省エネ性能表示制度等、③非住宅・住宅建築物の省エネ基準・省エネ計算、④建築物の省エネ設計技術
定員　各回200名（定員に達し次第締切）
受講料　建築士会会員3,000円
　　一般5,000円（テキスト代別途）
テキスト　「建築物の省エネ設計技術」
　　（大阪府監修）　発行：学芸出版社
　　特別価格：3,000円（税込）

大阪府知事指定講習
## 既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法講習会》
**6/27・9/8・12/7・2/9　CPD5単位**

本講習会修了者は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断等の補助を受けることができる技術者として名簿に掲載します。（本講習は、国土交通大臣登録講習ではありません。）
日程　①6月27日（火）　②9月8日（金）
　　③12月7日（木）
　　④平成30年2月9日（金）
時間　10:00～15:50
会場　大阪府建築健保会館6階ホール
最寄駅　地下鉄「谷町四丁目」下車
定員　各100名（定員になり次第締切）
受講料　会員5,000円　会員外9,000円
テキスト代　7,200円（2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法）

## 監理技術者講習
**6/29、7/20、9/13、11/9、1/18、2/15、3/7**
**CPD各6単位**

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講下さい。
日程　6/29（木）、7/20（木）、9/13（水）、
　　11/9（木）、1/18（木）、2/15（木）、
　　3/7（水）
時間　8:55～17:00
会場　大阪府建築健保会館
定員　各回90名（定員に達し次第締切）
受講料　WEB申込み9,500円
　　郵送申込み10,000円
申込　日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。
http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html

大阪府知事指定講習
## 既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《限界耐力計算法》
**8/4・1/30　CPD6単位**

既存木造建築物の限界耐力計算法による耐震診断は、一般診断法が建物の強度を評価するのに対して、建物の強度だけでなく、減衰性能も評価することができる診断法です。この機会に限界耐力計算法の技術を修得され、今後の業務に活用されますようご案内いたします。
日程　①8月4日（金）　②1月30日（火）
時間　9:30～16:00
会場　大阪府建築健保会館6階ホール
最寄駅　地下鉄「谷町四丁目」下車
定員　各120名（定員になり次第締切）
受講料　会員6,000円　会員外8,000円
テキスト代　4,000円（大阪府木造住宅の限界耐力計算による耐震診断・耐震改修に関する簡易計算マニュアル）

新刊書のご案内
大阪府監修
## 「建築物の省エネ設計技術」～省エネ適判に備える～

本会の特別委員会（委員長：近本智行立命館大学教授）は、省エネ技術書「建築物の省エネ設計技術」を5月1日に発刊しました。
本書は2020年までに進められる建築物の省エネ基準適合義務化を見据え、建築実務者の対応について、省エネ制度の全容や基準の算出方法、非住宅・住宅に生かせる45の省エネ技術と設計のポイントについて丁寧に解説しています。省エネの実務書として実践でご活用ください。
書名　「建築物の省エネ設計技術」～省エネ適判に備える～
監修　大阪府
内容　B5変型判　188ページ（オールカラー）
　　1章　省エネ性能に優れた建築事例
　　2章　省エネ制度（建築物省エネ法、非住宅・住宅の省エネ基準、省エネ計算方法など）
　　3章　省エネ設計技術
発行　学芸出版社
価格　定価3,456円
販売　全国の大型書店、ネット書店
　　本会事務局でも販売：
　　本会会員価格3,000円（税込）

第4回鑑定業務支援分科会セミナー
## エキスパートが推理する瑕疵の見極め方
**6/12　CPD2単位（予定）**

大阪府建築士会では建築紛争解決や鑑定に必要な専門知識をもつ人材の育成に力を注いでいます。今回、建築士を対象に相談実例を使って、初期相談における対応、どのような問題を想定するか、など相談経験が豊富な建築士が、パネルディスカッション形式で議論を進め、問題点の絞り込み手法を考えます。
日時　6月12日（月）　18:00～20:00
会場　大阪府建築健保会館5階会議室
内容　パネルディスカッション
　　実例「相談から瑕疵を推定する」
パネラー　津村泰夫（本会鑑定業務支援分科会委員、松田恵蔵（同分科会委員）
進行　橋本頼幸（本会同分科会担当理事）
参加費　会員1,000円　会員外1,500円
定員　50名（申込み先着順）

緊急告知
## 蒼き国モンゴルのいまから～今後の関係をみる（仮題）
**6/16**

アルザフグイ・デルゲルマー副領事、元名誉領事の佐藤紀子氏をお迎えし、今後の日本・モンゴル国の関係を考えていきます。
日時　6月16日（金）　18:00～
会場　TOTOテクニカルセンター大阪
最寄駅　地下鉄「本町駅」下車
ゲスト　馬頭琴演奏
コーデイネーター　森田茂夫
参加費　2,000円
詳細は決まり次第、建築士会HPに掲載します。

# 動静レポート

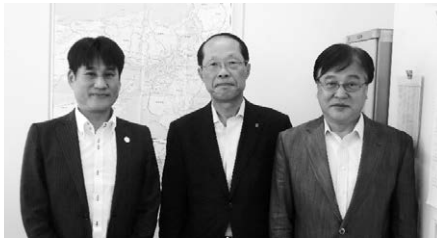
## 会長動静

4/27　日本建築材料協会研修会講師
5/11　府山下住宅まちづくり部部長訪問
　　府建築安全課、公共建築室訪問
5/12　府住宅供給公社堤理事長訪問
5/16　大阪府収用委員会
5/18　総務企画委員会（連合会）
5/19　府安全なまちづくり推進会議総会
　　奈良県建築士会総会
5/23　大阪建設業協会総会
5/24　釜山広域市建築士会出迎え
　　釜山広域市建築士会歓迎会
5/25　総会・式典・懇親会
　　釜山広域市建築士会交流会

## 運営委員会

### 山下大阪府住宅まちづくり部長訪問

大阪府住宅まちづくり部部長に就任された山下久佳氏を5月11日訪問しました。府は本会の監督官庁であり、大地震時の応急危険度判定、工事紛争審査会委員の会員派遣、大阪の住まい活性化フォーラム、まちなみ賞、あすなろ建築賞など多くの事業等において協力関係にあります。訪問では、本会の日頃の活動とその成果を報告し、部長からは公益団体として社会貢献等の活動を、引き続き活発に実施するよう要望があり、岡本会長は一層の取り組み拡大を約束されました。



左から山下部長、岡本会長、田中副会長

## 運営委員会

### 堤大阪府住宅供給公社理事長訪問

5月12日に大阪府住宅供給公社の堤勇二理事長を訪問しました。
堤氏は3月31日に大阪府住宅まちづくり部長を退職され、4月から公社の新理事長に就任されました。本会は府マンション管理支援機構の活動等で府公社と繋がりがあります。
堤理事長は公社が市町村の定住人口増加に向けたまちづくりや子育て支援などの社会貢献など、今年は「反転攻勢・元年」と位置付け、次々と新しい取り組みにチャレンジしたいと抱負を語っていただきました。
本誌のお知らせ欄に、府公社が現在募集中の住戸改善事業提案競技の案内を掲載しておりますので、奮ってご応募下さい。

左から上田副会長、岡本会長、堤理事長、石貫副会長

## 運営委員会

### 平成29年一級建築士試験の申込状況

今年の一級建築士試験の、本会窓口における対面受付を、5月15日（月）に締め切りました。
大阪では、学科からの受験申込は2,759名（全国34,247名）、設計製図の受験申込は330名（全国4,285名）でした。
申込者数は昨年と比べ、学科では108名増加（全国930名増加）し、設計製図は、31名減少（全国465名減少）しました。
なお、一級建築士学科試験は、7月23日（日）、設計製図試験は、10月8日（日）に実施します。

## 建築表彰委員会

### 第37回大阪都市景観建築賞第1回幹事会を開催

本会が事務局を務める大阪都市景観建築賞（大阪まちなみ賞）の、第1回幹事会を本会で開催しました。幹事会は大阪府・市及び本会を含む建築4団体で構成され、募集スケジュール等の運営方針を決めます。座長には昨年同様、本会の中嶋副会長が選出され、まず前回の概要説明や収支報告の後、今年の運営スケジュール、収支予算、審査委員、募集方法等に関する運営方針を確認しました。
また、今後の課題として、本事業に対する協賛金の減少により、収支のバランスが悪化しており、今後、協賛団体を追加募集するなどの対応を行うことが話し合われました。
大阪まちなみ賞は今年も府民の推薦を広く募集することとし、多くの応募が集まるようPRに取り組むこととしました。

## 社会貢献委員会

### ヘリテージ事業に対する文化庁からの補助額が決定

本会のヘリテージ分科会では、H25年度から文化庁の補助事業を毎年行っており、今年度の補助額は昨年度より約800万円増の、11,715千円と決定しました。
その主な内訳は、毎年実施して今年度で5回目となるヘリテージマネージャー育成講座、地域の伝統的な建築やまちなみのMAP作成、文化財の活用を通じて保存の大切さを学ぶ企画、登録文化財の保存・活用の実態調査などで、今年度は新たに登録文化財ポータルサイト立上げの事業が加わりました。
現在、本会ヘリテージ分科会及び大阪府ヘリテージマネージャー協議会が会合を重ね、補助事業の具体的な企画立案を進めております。

## 社会貢献委員会

### 「既存住宅状況調査技術者講習会」の申込受付状況

宅地建物取引業法の一部改正により、既存住宅の取引時に、建物状況調査（インスペクション）に関する説明を売主及び買主に行うことが、来年4月から義務付けられます。
建物状況調査は、建築士だけに認められた建築士の新たな業務であり、資格の取得をするための「既存住宅状況調査技術者講習会」の受講申込を、5月9日から日本建築士会連合会のホームページで開始しております。
大阪では、新規講習3回、移行講習3回を実施する予定をしており、5月26日時点の申込者総数は419名、6月の新規講習会はすでに満席となっており、本講習に対する建築士の関心の高さが伺えます。

## 建築技術講習会『外壁タイルの剥落防止対策と法的留意点』

日程：平成 29 年 4 月 14 日（金）　会場：アドヴァン大阪ショールーム　参加者：100 名

桑原宏明（建築相談分科会委員）

平成 20 年の建築基準法の改正に伴い「定期報告制度の厳格化（特殊建築物のタイル外壁等における 10 年毎の外壁全面打診の義務化）」が施行され、外壁タイル施工に関する瑕疵の有無の相談や修繕に関する業務が増えています。建築士会から派遣されるマンション相談でも問合せが多い項目にあげられます。

今回の建築技術講習会は、技術面だけでなく、瑕疵があった場合の法的な解釈や建築士に求められる責任について学ぶことができる貴重な機会となりました。

私が建築の仕事に関わり四半世紀になりますが、タイルの施工方法について多様な取組みがなされた時代と言えます。現在改修工事に関わる機会が増えるなか、外壁タイルの劣化診断では建設時期の施工方法や材料についての知識が重要になります。単に外壁タイルの接着状況を調査するだけでなく、不良状態の要因を把握することが修繕方法の選定や再発防止の面でも重要になります。外壁タイルの施工方法の変遷や下地となる躯体の施工方法にも目を向ける必要があり、複合的な視点の重要性を学ぶことができました。改修工事が今後も増える状況からもタイルに関わらずあらゆる面で、過去の施工方法についても理解が必要であることを改めて認識しました。

今回の講習会では、判例等をもとに外壁タイル施工の瑕疵や剥落における事故が生じた際の私たち建築士に問われる法的責任についてお話しいただきました。施工不良による責任は、施工会社への責任がクローズアップされがちですが、設計・監理業務に対し求められる責任について改めて再認識することができました。また定期報告制度が厳格化されたことから維持管理者（主に所有者）に求められる責任が今まで以上に問われるようになりました。建築主に対し設計時や引き渡し時に維持保全についても十分な説明が必要であると感じます。建築士会から市民に向けて行われるセミナーを通し情報を発信していきたいと思います。

## 平成 29 年度定時総会及び関連行事の報告

開催日：平成 29 年 5 月 25 日（木）
会場：ホテル大阪ベイタワー

平成 29 年度定時総会は、総正会員数 2,549 名に対して 1/3 以上となる 1,031 名（うち委任状 905 名）の出席で定款第 17 条に照らして成立しました。

所信を述べる岡本会長

会長は、建築士育成はもとより行政や弁護士会と連携した公益活動の推進や、宅建業・不動産業の他業種と協働した事業の拡大を図る方針等を表明されました。

○第 1 号議案（28 年度事業報告）

本会が 28 年度実施した、公益目的事業、収益事業、その他事業について、運営・研修・事業・建築表彰・建築情報・社会貢献の 6 つの常設委員会別に活動内容を報告し、承認されました。

○第 2 号議案（28 年度財務諸表等）

貸借対照表、正味財産増減計算書等の財務諸表に照らして、収支項目の推移について説明を行ないました。

平成 28 年度の収支決算は、委員会活動が堅調に推移し、会員減数が想定から約 50 名縮小したことなどによる 637 万円の黒字で、また退職手当積立預金に約 330 万円を充当して退職給付引当金と同額となり、本会は健全な財政状況となりました。当期一般正味財産増減額は 9,709,500 円で、一般正味財産期首残高 25,494,417 円から同期末残高を 35,203,917 円と報告して承認されました。

さらに、公益法人法に定められた公益目的事業の 3 区分の各収支差引額が全て赤字であり、かつ公益目的事業の支出計が全支出計の 1/2 以上となる規定を満たしていることを報告して承認されました。

○第 3 号議案（29 年度役員選任）

2 年間の任期が満了した役員に代わる「役員推薦委員会」から推薦された理事 25 名、監事 1 名が承認されました。これにより、29 年度は理事 45 名、監事 2 名の役員構成となりました。

■式典・表彰式

前田栄治大阪府住宅まちづくり部技監、川田均大阪市都市計画局長、李萬熙釜山廣域市建築士会長に祝辞を賜りました。名誉会員称号、永年会員表彰、新設の CPD 制度表彰、第 61 回大阪建築コンクール及び第 9 回建築人賞の表彰式を執り行いました。

■記念講演会

山口健一氏（前大阪弁護士会会長）をお迎えして「弁護士から見た建築士さん」というテーマで弁護士と建築士の社会的な役割と連携についてお話頂きました。

ひろばHIROBA『今、自治体のアツイとこっ！』連載 第三十四回 千早赤阪村

大阪府内のホットな取り組みをご紹介します。

# 大阪府内唯一のむら、「過疎からの脱却」を目指して

文　安井　良之

## ■はじめに

大阪府内唯一の村、千早赤阪村は、大阪府の南東部に位置し、富田林市、河内長野市、河南町そして金剛・葛城山地の主峰金剛山を隔てて奈良県五條市、御所市と接しています。大阪市内から電車で約一時間というアクセスの良い場所にありながら、山々や棚田が織りなす里山の風景には、「ここが大阪？」と目を疑うほどです。

本村のシンボルでもある「金剛山」（標高一、一二五ｍ）は、府内最高峰を誇り、府内外からも多くの人が訪れます。住民の方は親しみを込めて「こござ」と呼んでいます。

また、本村の歴史を語るうえで楠木正成は欠かせません。正成は鎌倉時代から南北朝時代にかけての武将で、後醍醐天皇の召しに応じて鎌倉幕府打倒に貢献した人物です。村内には、楠公誕生地や楠公産湯の井戸のほか、赤阪城跡や千早城跡をはじめとする楠木正成ゆかりの史跡が数多く残されており、「太平記の村」とも呼ばれています。

## ■過疎地域の公示と人口の推移

大都市近郊という立地特性を活かした近郊農業と、金剛山を中心とする観光業や林業によって発展してきた本村は、昭和四〇年代には、大都市圏の拡大の影響を受けて、住宅地の開発もみられ、人口が急増しましたが、昭和六〇年の七、六九七人（国勢調査）をピークに、少子化と若者の都市部への流出によって、平成二二年には六、〇一五人となり、ピーク時から一、六八二人（約二一．九％の減少率）減少しました。

そのため、平成二六年四月に改正された過疎地域自立促進特別措置法によって、大阪府内で初めて、過疎地域に公示されました。

人口減少や少子高齢化への対応、住民の安全・安心な暮らしの確保、地場産業の活性化、財政基盤の強化などの課題を抱える中、平成二六年一二月に「千早赤阪村過疎地域自立促進計画」を、平成二八年一月に「千早赤阪村まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」及び「千早赤阪村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

「住みたいむら」、「住み続けたいむら」として発展していくことを目指し、次の将来像を基本的な指針としています。

むらづくりの将来像

『みんなが集う、みんなで育む、みんなに優しい、みんなを結ぶ　ちはやあかさか～夢を持って子育てができる金剛山（こござ）のむら～』

このような将来像の実現のため、行政だけではなく、住民、事業者等が一体となって、住む人が満たされる、訪れる人が癒される魅力あるむらづくりを進めます。

## ■移住・定住促進施策

人口減少・少子高齢化を食い止め、子育て世帯、若年夫婦世帯の移住、定住の促進を図るため、様々な施策メニューを用意しています。

**・空き家情報バンク事業**

村内への移住希望者の受け皿として空き家を活用。空き家情報バンクを設置し、ホームページで物件を紹介し、所有者と移住希望者をマッチングするシステム。物件を登録した所有者には、登録報償金五万円を用意。

**・定住促進空き家改修補助事業**

空き家所有者や五年以上定住する意思のある方に改修費用の一部を補助。村内住み替えにも利用ができる。空き家情報バンク登録物件は上乗せ補助を実施。

**・定住促進家賃補助事業**

若年夫婦や子育て世帯の人が、移住（住み替え）する場合に、月額二万円を上限として家賃の二分の一を最大三六ヶ月分を補助する制度。

**・子育て世帯等引っ越し費用補助事業**

若年夫婦や子育て世帯の人が、移住（住み替え）する場合に、一〇万円を上限として引っ越し費用の二分の一を補助する制度。

**・住宅の耐震補助**

住宅等の耐震化を促進するため、昭和五六年以前の建築物の耐震診断や木造住宅の耐震設計・改修にかかる費用の一部を補助する制度。

平成二八年度からは除却工事の費用も補助する制度を創設。

## ■地域おこし協力隊でむらおこし

都市住民に過疎地域などの地方へ移住してもらい、市町村長が「地域おこし協力隊」に委嘱。地域資源の発掘や地域活

村ホームページの定住情報サイトには、空き家情報バンクのほか、村の案内や生活サポートなど情報をたくさん掲載しています。

村を紹介したプロモーションビデオ

動の参加を通して、最終的に地域に定住してもらう総務省の取組みです。

本村でも、平成二九年四月から府内ではじめてとなる地域おこし協力隊を二名導入しました。

協力隊員には、農林業の振興のために棚田の保全・農業イベント開催の検討、観光まちづくりや集落活性化に向けた空き家の利活用促進などに取り組んでもらう予定です。

委嘱状交付を受けた協力隊員と松本村長

## ■企業誘致等の施策

本村の面積は、三七・三平方キロメートルありますが、その大半は山林・原野であり、市街化区域がわずか一・三平方キロメートルです。

このような中、過疎地域の厳しい現状と時代の潮流の変化をとらえ、魅力あるむらづくりを進めるため、市街化調整区域においては土地利用計画制度を柔軟に活用し、集落機能を維持し地域の活性化を進めるため、平成二八年六月に「都市計画マスタープラン」を改正し、あわせて「市街化調整における地区計画のガイドライン」を策定しました。

また大阪府において、市街化調整区域における「既存集落の機能やコミュニティの維持への対応を目的とする開発行為等の取扱い」の新提案基準の運用が開始されたことから、本村でも予定建築物など具体的な基準策定を進めているところです。

その他にも、積極的に企業誘致を進めるために、次のような優遇制度を設けています。

**・企業誘致等補助事業**

平成二九年度より、村の産業振興ならびに雇用機会の拡大と新規企業の立地及び既存企業の規模拡大（増設等）を支援するため、最大一、〇〇〇万円を補助する制度を創設。

〔補助対象者・要件その一〕

①都市計画法第二九条の開発許可を受けた者

②都市計画法施行規則第六〇条の開発許可等不要証明の交付を受けた者

〔補助対象者・要件その二〕

①五、〇〇〇平方メートル以上の敷地面積で新設等を行う者

②本村が定めている地区計画地区内において、一、〇〇〇平方メートル以上ある敷地面積で新設等を行う者

| 補助区分 | 補 助 率 | 上 限 |
|---|---|---|
| 流出抑制施設整備補助金 | 調整池の設置に要した費用の3分の1 | 200万円 |
| 緑化推進補助金 | 緑地の設置に要した費用の3分の1 | 100万円 |
| 埋蔵文化財発掘調査補助金 | 埋蔵文化財発掘調査に要した費用の3分の1 | 100万円 |
| 事業所建設等補助金 | 事業所の建築・増改築費、事業用設備及び備品購入費の2分の1 | 600万円 |

**・小売店舗等開業支援事業補助事業**

経済活性化及び生活利便性の向上のため、飲食料品小売業や飲食店の開業に必要な経費に対して、三〇〇万円を上限に補助。さらに、コンビニエンスストアについては、上限一〇〇万円の上乗せ（最長三年間）補助。

**・固定資産税の優遇措置**

〔過疎地域自立促進特別措置法〕

製造業等の用に供する生産等設備を新設又は増設した場合に固定資産税を三年間免除。

〔地域再生法〕

大阪府の「地方活力向上地域特定業務施設整備計画」に従って整備した土地、建物等の固定資産税を三年間不均一課税。

## ■おわりに

最後になりましたが、私が所属する地域戦略室では、過疎対策をはじめ、企画、広報、都市計画、開発指導、建築指導、住宅耐震対策、空き家対策、地域公共交通対策、さらには、新庁舎建設など、多種多様の業務を担っており、職員一同できる限りの知恵を絞り、協力しながら日々業務と向き合っています。

全国には、過疎地域に公示された市町村は多くありますが、未だかつて過疎から脱却した市町村は一つもありません。本村では、全国で初めて過疎地域から脱却する村となるよう、行政のみならず、住民や事業者等と手を取り合って元気なむらづくりに取り組んでいきます。

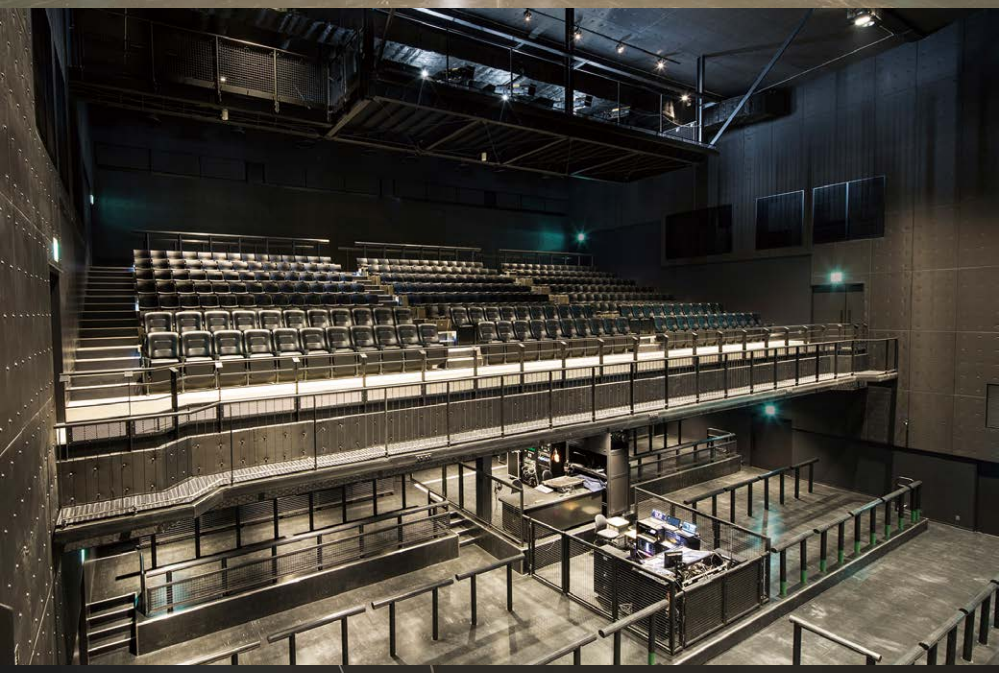
地域戦略室職員集合写真

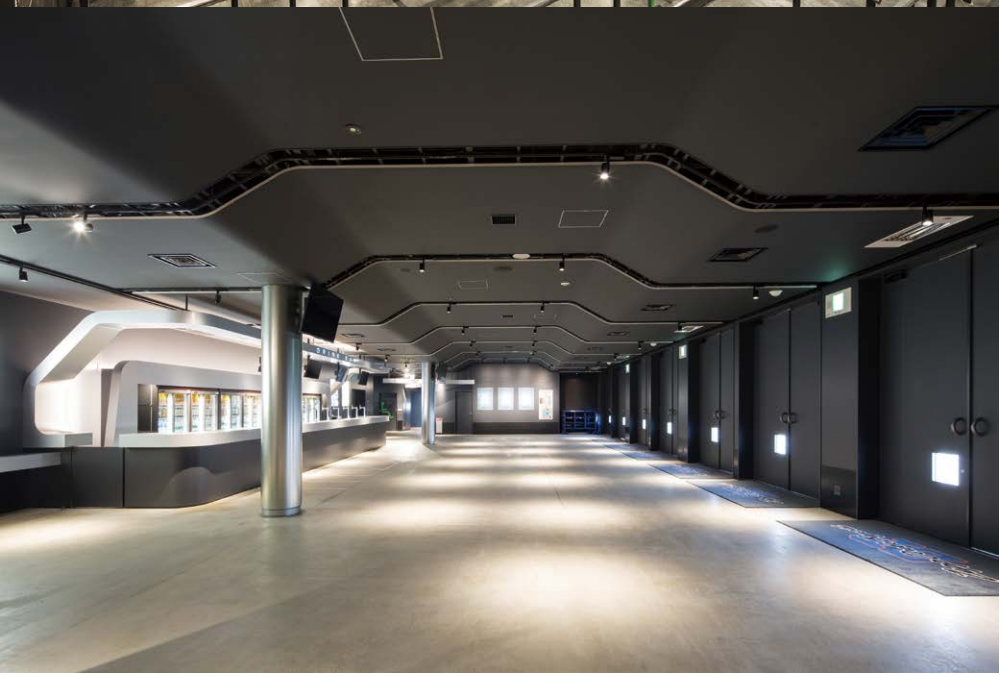

**安井　良之**

千早赤阪村人事財政課地域戦略室

一九六九年　藤井寺市生まれ
一九九一年　千早赤阪村入庁
二〇一六年　現職

設計：鹿島建設関西支店建築設計部
施工：鹿島建設関西支店



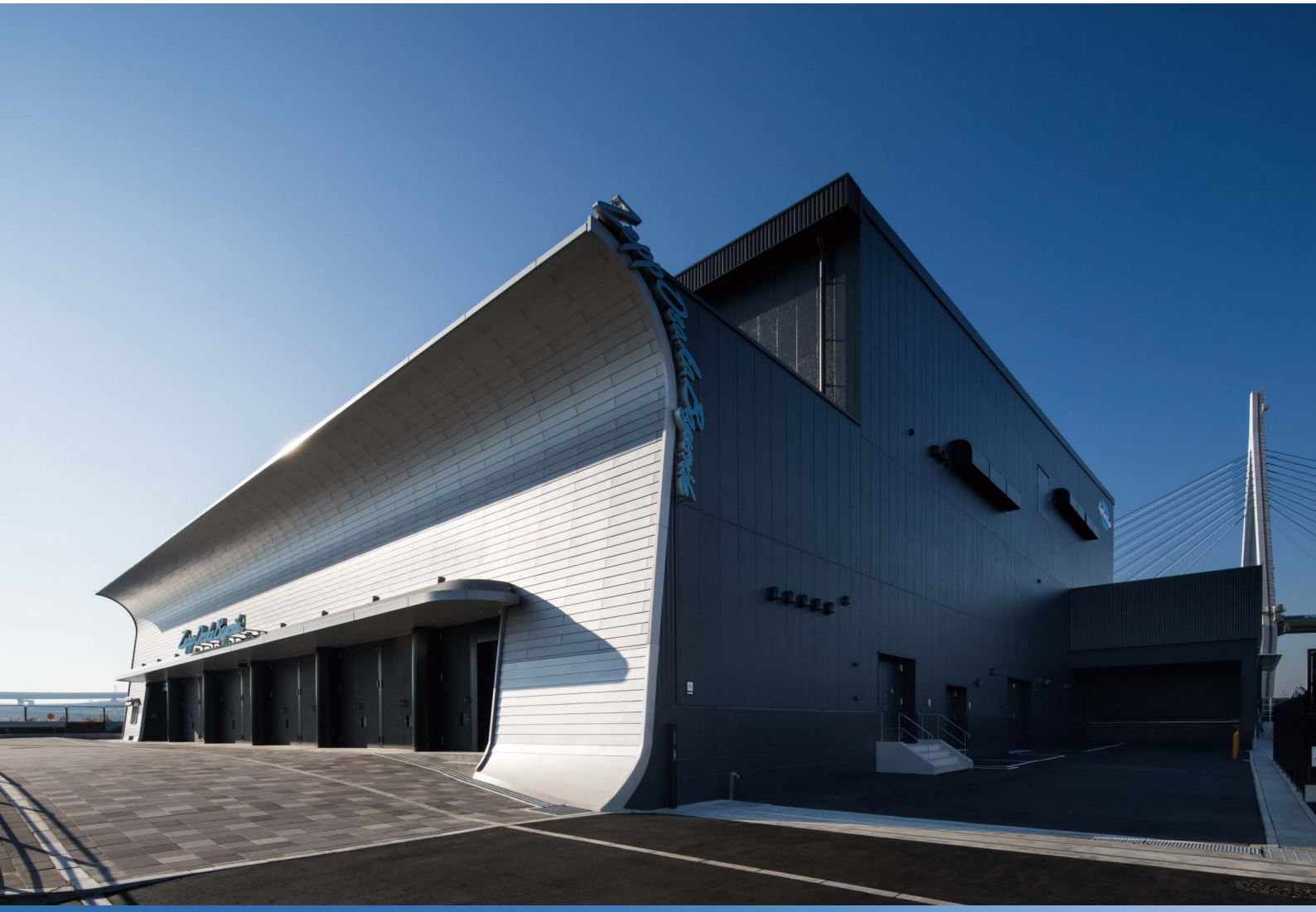


※

所 在 地：大阪市此花区桜島
用　　途：ライブホール
竣　　工：2017.01
構造規模：鉄骨造　2階建
敷地面積：3,870.07㎡
建築面積：2,294.32㎡
延床面積：3,284.87㎡
写　　真：伸和・鹿島建設(※)

Zepp ホールネットワークによるライブホール。計画地は USJ に隣接する造船ドック跡地で、施主要求は「最もハードなライブに対応できる、史上最大の Zepp ホール」。設計の鍵は振動・音・温湿度制御・安全性。2,800人がジャンピングしても周辺建物の共振や振動が起こらぬよう、実験測定と解析を行い、摩擦杭と極厚マットスラブの基礎方式を採用した。Zepp 大阪ベイサイドはこれまでのスタンディングホールのノウハウを凝縮させた結晶であるが、さらなる進化として VIP 席やアーティストとの交流（Meet&Greet）スペース、海の見えるテラス付楽屋など、様々な仕掛けを行っている。そしてグッズショップや行列エリアとなる玄関外部空間をビッグウェーブ壁面でおおらかに覆うことでインパクトのあるファサードを創っている。　（前垣篤志・塚田豊男）

# Zepp 大阪ベイサイド



# 清教学園幼稚園 新Ⅰ棟

総括アドバイザー：池田恵次（工房アローン）
設計･監理：HTA デザイン事務所　施工：藤木工務店

2014 年に 80 周年を迎えた園舎建替えであり、こども園への移行を見据えた施設計画である。敷地周辺には、学校やホール等がある一方、個人住宅も建ち並ぶ場所である。また、隣接する教会は、古くからまちのシンボルとして親しまれてきた。本設計に先立ち将来構想を見据えたマスタープランの策定を行った。園の教育理念・目標「ひとり一人の賜物を生かす」愛ある教育を具現化する５つの設計方針、「安全･安心･温かさ」「調和」「成長・タイムレス」「多様性・楽しさ」「コストバランス」を基に、園児の安全と成長を第一に、周辺の街並み、隣接する教会のスケール感に配慮した施設とした。（髙原浩之・鍵井拓真）

建　築　主：学校法人清教学園
構　　造：髙原建築構造事務所
設　　備：シーソー建築設計事務所
所 在 地：大阪府河内長野市
用　　途：幼保連携型認定こども園
竣　　工：2017.01
構造規模：RC造・地上3階
敷地面積：3,173.69㎡
建築面積：515.58㎡
延床面積：1,014.64㎡
写　　真：母倉知樹

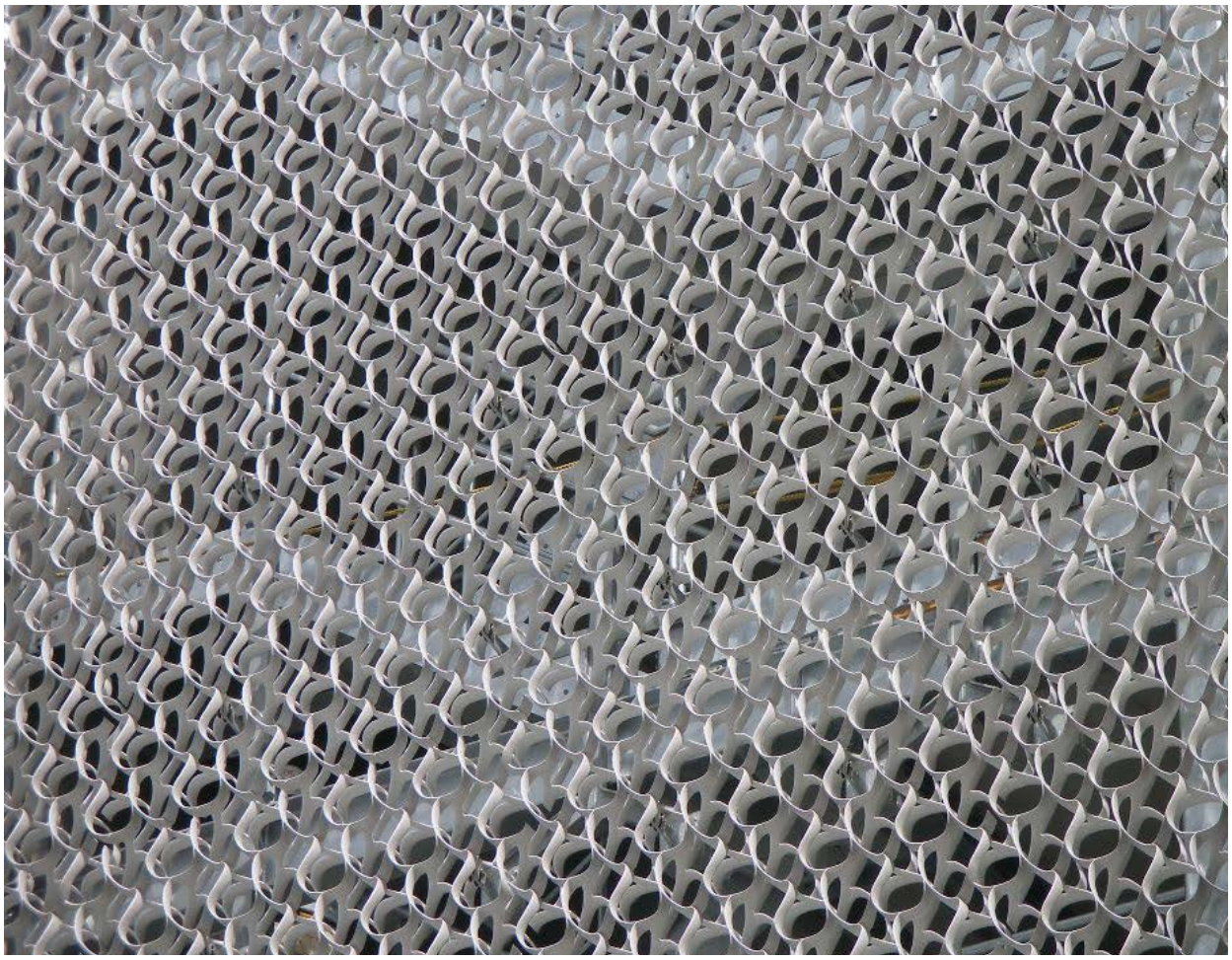
# 富田林じないまち・木くま館

設計：横関正人＋横関万貴子／NEO GEO
施工：アール・ワン

大阪で唯一重要伝統的建造物群保存地区に指定されている富田林寺内町で、林野庁の助成金を受け、「おおさか河内材」を用いた新たな耐震補強法を導入した実証モデル施設として改修した。目的は耐震性が十分でない既存木造建築物の安全性を確保し寿命を延ばし、地域材等の利用促進に向け木材を活かし、意匠性と強さを兼ね備えた耐震補強法を生み出した。この新たな耐震補強法を多くの方が見学し、林業にかかわる事業者、木を扱う作家・アーティスト・デザイナー・建築関係者、周辺のまちづくり団体、住民など、木を取り巻く人たちの発信の場・交流拠点とすることで地域の活性化やまちなみにもつなげ、景観に寄与することを目指している。

所 在 地：大阪府富田林市
用　　途：店舗・事務所
竣　　工：2012.03
構　　造：京都大学生存圏研究所
構造規模：木造２階建
敷地面積：188.21㎡
建築面積：139.97㎡
延床面積：233.81㎡
写　　真：絹巻　豊

匠の巧 ■ 株式会社小松物産



アルシェードによる銀座資生堂ビルのファサード。アルミとは思えない柔らかで奥行きある表情を生み出している。

# 次世代素材ロートアルミ

文　丸子勇人・河合哲夫

## ■ロートアルミとは

ロートアイアンとは、ヨーロッパの街並みを中心に、門扉や手摺など、建築表現の装飾的要素として風景を特徴づける鉄製の建築部位であり、工芸作品ともしばしば表現される。その理由は、職人が手仕事で鉄の部材に曲げやねじり等の加工を施し、その部材を組み合わせて完成するからである。その表現の幅は非常に豊かで、質感としても鉄とは思えない味わい深い風合いと存在感を合わせもつ。今回取材した小松物産が主製品として取り扱う「ロートアルミ」は、そのアルミ版ということになる。

創業者である現社長の馬松氏は一九九一年に中国・天津で、架線金物・機械鋳鉄部品・アルミ鋳物などを生産する独資「天津水谷建材工業有限公司」を興した。そこで欧州伝統のロートアイアンを皮切りにそのノウハウを活用する形で独自の製品のロートアルミを開発、九五年から生産を開始している。二〇〇三年にはロートアルミにおいて、門扉、フェンス、バルコニー手摺等を製品とする「小松アルミ」をブランドとして設定し、アルミ材による曲げ、ねじり、溶接、塗装加工など手作りでしか表現できない独自の技術を用い、様々に製作してきた。

そして近年、長年の経験から培った技術の集大成として次世代新分野商品「アルシェード」が開発されたので、是非今回紹介したい。

## ■アルミと建築

ところで、そもそもアルミニウムとは、どんな素材か。アルミニウムは鉄に次いで地球上に多く存在する物質であり、発電技術の発達により、その精錬技術は一九世紀末に発達した。この時期はちょうど近代建築の萌芽期にあたり、その当時の近代建築の潮流である鉄やガラスといった透明性を建築にもたらそうとする思想にも軽くて丈夫なアルミの素材特性がフィットし、オットー・ワグナーのウィーン郵便貯金局をはじめ、多くの建築の部位にアルミニウムが使用され始めた。しかしながら、当時の技術では建築に必要な複雑さを十分に満足できず、すぐには鉄やガラスのように著しい発展、普及はみられなかった。

一方、日本では、一九六〇年代の高度成長

期にあわせて、アルミサッシが普及し、住宅街の風景を一変させた。しかしオイルショック等による低迷期を挟み、現代に至る。二〇〇〇年代に入ると、アルミを主要構造体として取り扱うプロジェクトもようやく実践され始め、いまだにアルミという素材が秘めた可能性を求め、その建築表現は模索され続けているのである。これらのことを顧みると、小松物産のロートアルミを主製品に、自社技術を生かした開発の先には、ますます期待は広がる。

天津リッツカールトンホテルのプール（壁・天井）

## ■アルミの素材特性―軽量性・防錆性・加工性

次にロートアイアンと比較しながら、アルミの素材的特性として、軽量性、防錆性、加工性を考察する。

まず、その重量の違いは一目瞭然である。比重は鉄が七.九g／㎤に対し、アルミは二.七g／㎤となり、その重さは約三分の一となる。ロートアルミによってロートアイアンの同等の表現が可能であれば、当然、建築に対する負担が軽減し、構造的に大きなメリットがある。

つぎに、防錆性については、アルミニウムの特性上、酸素原子との相性が良く、アルミニウム原子と酸素原子の結合力が強い。そのため、アルミ材の表面仕上げとしてよく使われるアルマイト仕上げは、表面の酸化により非常に安定した酸化被膜を形成し、防錆性が高いのである。鉄でできたロートアイアンを使用して赤錆発生などで引き渡し後のメンテナンスに悩まされた建築家は多いと思われるが、ロートアルミではそのリスクもほとんどない。また、小松物産では粉末状の粉体塗料を使用する紛体塗装を中心に行っているため、現在主流の有機溶剤系塗装より地球環境や人体に優しい。この塗装は、欧米では年々増加し続けているが、日本での使用量は、まだまだ数%という。塗膜も厚く、柔軟性を持つため、耐久性にも優れている。

加工性については、アルミは塑性加工がしやすく、さまざまな形状に成形することが可能である一方、溶接が難しいとするのが一般的である。ところが馬松氏によると、独自の「溶接技術」がロートアイアンと遜色ない建築表現を可能とさせたという。例えば、一般的なアルミのメーカーではアルミ押出中空材で格子を作る場合、通常端部小口にはキャップをはめ、ビスで固定する。一方小松物産では、職人の手作業によってひとつひとつ蓋を溶接し研磨するため、なめらかで美しい小口を形成可能なのである。その技術力こそ、ロートアルミの根幹となっている。

## ■アルミ押出中空材による「アルシェード」

上記のアルミの特性に加えて、溶接に強いという自社のアルミの特性を生かした商品が前述の「アルシェード」である。通常、アルミキャストで建築部材を作る場合、大きな鋳型を製作することが多く、コスト的に高くつく上、三次元的な建築表現にも限界がある。

一方、アルシェードでは、小さいサイズの鋳型を用いることにより、初期投資のコストを抑え、その小さな部材をシステム的に連結させることで、鋳物では不可能であった奥行きある三次元の多様な表現を可能とするのである。その代表作のひとつが、建物全体が未来唐草という名前のシェードで覆われた東京銀座資生堂ビルである。一本の洗練された唐草のラインから立体的にかつ美しく連続するように一ユニットが三〇〇×三五〇×二七〇ほどのサイズでデザインされ、その繰り返しによって一八〇〇×四二五〇の一ユニットを構成している。この三次元的で有機的な形状は、その素材感が認識できなくなるほど柔らかく、美しい印象を創出している。

新たな表現を成功させた一方で、馬松氏は、鋳物自体では伸び率が一～二%しかないという懸念事項があったと語る。資生堂ビルの場合は、鋳物同士を溶接するその溶接材がもつ伸び率によって接合部が緩衝剤として働くように機能させたという。そのことをより改善すべく、さらに開発した商品が、「アルミ押出中空材を用いたアルシェード」である。これにより、部材自体が伸び率一三%を確保しながら、溶接強度を確保し、重量も一㎡あたり一三～一五kgとなり、鋳物と比較し約四分の一程度まで軽量化に成功している。当然、重量に比例し、値段も安価となる。「これからの商品はすべてアルミ押出中空材で製作する」と、馬松氏は語る。すでに、小松物産のショールームには、さまざまな新しいデザインのアルシェードのパネルデザインが置かれている。そのデザインの新しさとその表情の豊かさには目を見張った。

## ■より良いロートアルミの創出を支える一貫性

馬松氏への取材を通して、小松物産のこれまでの足取りには、PDCAを確実に行う、一貫した姿勢が感じられた。まずロートアイアンの弱点を補うようにロートアルミを開発し、日本に広く普及させる。そして、自社の溶接技術を磨き、今度はその特性を生かした鋳物のアルミシェードを開発する。さらに、その集大成として、三次元的で多様な表現が可能な、軽く、伸び率が高く、コストが安い、アルミ押出中空材を用いたアルシェードを生み出した。以上のような、アルミという素材を深く理解し、自社の特性を見極め、より良いアルミの創出を継続する小松物産の一貫した姿勢は、今後もさらにアルミによる建築表現の奥行を広げていくのは間違いない。

実は私が現在設計している集合住宅でもロートアルミを手摺として用いている。竣工時に建築の表情をどのようにやわらかく、繊細さをもたらしてくれるのか、今から完成が待ち遠しい。

代表取締役の馬松氏


**株式会社小松物産**

株式会社　小松物産
大阪本社　〒545-0021
大阪市阿倍野区阪南町6-9-8
TEL:06-4700-6077
FAX:06-4700-6078
東京支店　〒103-0016
東京都台東区北上野2-11-14
小松上野ビル
TEL:03-5827-3781
FAX:03-5827-3780

「空き家の手帖」をご存知でしょうか？空き家問題について一般向けにわかりやすく伝えている冊子です。今回は共著者であるぽむ企画のお二人に刊行の経緯やぽむ企画の活動、そこから見えてきたことについてご紹介いただきました。

# 『空き家の手帖』から考えるオーナー目線の建物活用

**ぽむ企画　平塚　桂**（ライター、編集）　**たかぎ み江**（ライター、編集、イラストレーター）
京都大学および大学院で建築を学んだ平塚、たかぎによって2000年Webサイト「ぽむ企画」（http://pomu.tv）開設。
それを機に建築に関する評論やイベント企画を行いはじめる。京都および首都圏を拠点に執筆や編集を行っている。

昨年九月、六原まちづくり委員会（京都市東山区）とぽむ企画の共著で、学芸出版社より『空き家の手帖』を刊行した。

きっかけは四年前、「空き家オーナーに向け、空き家問題を啓発する冊子をつくりたいので協力して欲しい」と六原まちづくり委員会から相談を受けた。二〇一一年の発足以来、彼らは大学および不動産や建築のプロと共に空き家の実態調査を行い、空き家活用の方法を探ってきたという。そこでわかってきたのは、相続や片付け、不動産流通への誤解といったオーナー側の事情が壁になっており、なかなか空き家の活用まで漕ぎつけないということだった。

それは我々にとって予想外のことだった。我々は、住む人がいて改修さえなされれば、空き家の問題は概ね解決すると考えていた。それ以前の課題には、想像が及ばなかったのだ。

当時すでに、ハード面から空き家問題を解決する方法は確立へと向かっていた。かつて新築偏重だった政策はストック活用へと舵が切られ、空き家改修に活用できる補助金も増えつつあった。不動産市場や住宅ローンのあり方も中古不動産の活用を支援する方向へと変わりつつあった。だがオーナーがいかに空き家と向き合うか、その方法論は体系化されていなかった。

そこで本をつくる上ではオーナー目線を徹底した。まず地域の空き家オーナーをイメージした「六原家」という架空の家族を設定。六〇代の夫婦と二人の子供による掛け合いで、「家は一度貸したら、返って来ないと聞きますが」「空き家と相続ってどう関係があるの？」といった空き家についての素朴な疑問をぶつける。それに対して建築家のケンさん、不動産屋のフドウさんといった専門家が回答するというQ&Aを二四個用意した。

紹介している六つの事例も所有者目線とし、片付け、改修、お金の流れといった活用までのプロセスを詳しく紹介した。中にはかつて専門誌に掲載された建物もあるのだが、本書では作品性は二の次。空き家オーナーの漠然とした不安を明らかにし、解決策を示すことを何よりも重視した。

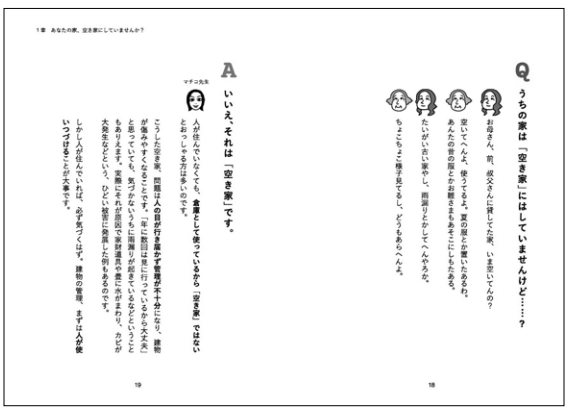
刊行して半年間、さまざまな反響があった。一〇団体以上におよぶまちづくり組織や建築関係者、大学関係者などが六原を訪れた。我々のもとにも「『空き家の手帖』のような冊子やパンフレットを制作してほしい」という依頼が三件舞い込んでいる。空き家問題を解決するには、まずオーナー側の課題を解決する必要があるという『空き家の手帖』の課題設定がそれだけ的を射ていたのだろう。

## ■ユーザー目線→オーナー目線

オーナーの意識を変えることで建築や不動産をめぐる状況はかなり変わりうるのではないか。これは我々ぽむ企画が『空き家の手帖』の制作を通じてあらためて認識したことだが、このような考えに至ったきっかけはもう一つあった。ここ三年ほど手伝っている、山下ピー・エム・コンサルタンツという会社のPRの仕事である。

山下ピー・エム・コンサルタンツは建築の発注者を支援するコンサルタント会社だ。ゼネコンや設計事務所との間に立って発注図書をまとめ、予算や工期をコントロールするのが主たる役割だ。この会社をどうPRするか。課題はそもそ

『空き家の手帖』の事例ページ。所有者目線を重視し、片付け、改修、お金の流れといった活用プロセスを紹介している。



『空き家の手帖』のQ＆Aページ。右ページに六原家の会話と空き家所有者の素朴な疑問、左に専門家の回答を示している。

『空き家の手帖』口絵ページの、空き家活用イメージ。左は垣内光司の設計による「Do It Yourself」。右は RAD が設計とワークショップ指導を行った「HAPS」。本書では作品性よりもスキームを中心に紹介。

六原まちづくり委員会＋ぼむ企画・著『空き家の手帖』（学芸出版社、1000円＋税）。空き家に悩む京都の住民を中心に、専門家の協力を得てつくられた、空き家対策の指南書である。ぼむ企画は編集やイラストなど、彼らの空き家対策の考え方をわかりやすく紹介し、形にすることを担当した。

もこのような職能があるということに、発注者が気付いていないことにあった。建築を発注するということには大きな予算が発生する。発注の予算管理やプロセスが不適切であれば、極端にいえば新国立競技場や豊洲市場のような大問題にも発展しかねない。しかし発注者が建築といかに向き合うかという方法論は確立されていないし、そもそも課題として認識されていない。そこで広報活動を行う上では、発注者の生の声をできるだけオープンなメディアで、わかりやすく発信することを心がけた。

## ■オーナー視点の建築の楽しみ方を伝えたい

我々は以前より、専門家ではない人々に向けて建築を紹介することを大事にしてきた。一五年ほど『Casa BRUTUS』『BRUTUS』（マガジンハウス）といった雑誌でライターを務め、美術館や住宅など、おそらく三〇〇件以上の建築を紹介した。書籍『東京スカイツリーの科学』（ソフトバンク・クリエイティブ）やWeb連載『建築テクノ図鑑』（建報社）では小中学生にもわかるように建築にまつわる技術を、イラストをまじえてわかりやすく解説した。

建築を取り巻く状況はここ一五年でずいぶん変化した。我々の貢献は微々たるものだが、メディアの影響や見学会やまちあるきイベントの増加などにより、建築を楽しむことは文化として普及しつつあるように感じる。だがその楽しみ方とはユーザー側から見たものがほとんどなのではないか。〝建築を楽しむ〟ということが表層的に捉えられすぎているのではないか。

一方で、生活者や投資家に向けた実用書を眺めても、一〇〇〇万円で家を建てるといった差し迫った事情に対応する解決策しか得られない。そこで我々は住宅やスモールビジネスのオーナーに向けて、建築を事業や生活に役立てながら楽しむ方法を発信していきたい。たとえば設計者や工務店の選び方、希望の伝え方や、予算のコントロールの仕方などを、わかりやすく広めていきたい。建築の楽しみ方を拡張することで、建築や街はもっと面白くなると考えているからだ。

山下ピー・エム・コンサルタンツの PR のための、発注者へのインタビュー風景。左下がたかぎ、右上が平塚。撮影者：笹倉洋平

15 年ほど取材や執筆を手がけている『Casa BRUTUS』『BRUTUS』。誰もが中に入ることができる公共性の高い建築もしくは住宅など、あらゆる人にとって身近な建物の魅力や暮らし方を紹介している。

構造との整合性に曖昧さが残っていることなどから奨励賞とすることが決定した。その後、残された知事賞候補に議論を戻し、やや閉鎖的な住宅地において周辺に対する敷地の開放などを評価し「つつじヶ丘の家」を受賞作とした。最後に室内空気環境のコントロールをテーマとしての高い取り組みを評価して「ダイキン工業テクノロジー・イノベーションセンター」を特別賞として選出した。

以下、受賞作への講評は各審査員のコメントに譲り、受賞にいたらなかった現地審査作品をコメントしたい。

○大阪府知事賞

「有縁のすみか」

現地審査では、設計者の運営企画への積極的な関与が読み取れ、持続的な取り組みにより社会的に閉鎖しがちなプログラムを開放する提案が実現されたことが確認できた。地域や既存施設との関係をよく読み解いた力作ではあるが、木架構への工夫やチャレンジなどもう１歩踏み込んだ建築提案が求められる。

「仁川の住宅」

郊外の住宅地に建つ個性的なファサードの住宅であるが、内部は大きな吹き抜け空間を中心に家族の居場所が設定される魅力的な空間を持っている。しかし、個性的であるファサードの表情とその意義に関して、設計者が託した目的ほどには達成されていないのではないか、まして木造による架構に整合性があるのかが気になるところであった。

「浄土真宗本願寺派西光寺」

大阪の最も賑やかな一角に立地するお寺の再建であるが、猥雑な環境との接点をコンクリートボックスと敷地の両側に設定した長い内部通路によりうまく調停を行っている秀作である。しかし、周辺の雑音からの遮蔽を強くしたためか、やや閉鎖的で内向な印象を拭えない。安定した環境は発注者側の条件は大きな前提であろうが、宗教がもちえる非日常性を信徒以外でも享受できるところに宗教建築の魅力が生まれるのではないだろうか。

「祇園末吉町ビル」

夜に魅力を発揮することを求められる建築であろうが、伝統的すだれをステンレスの網によって現代的な表情を獲得している、新たな可能性を具体化した労作である。審査では日中の確認となったが夜間の照明による魅力は充分に理解できるものであった。しかし、設計者の熱心な取り組みが内部空間とは切りはなされていたことがやや残念であった。

○渡辺節賞

「鳳の家」

比較的新しい住宅街の角地に立地する小住宅である。現地審査では西三国の家と同じ設計者が出迎えてくれた、コンセプトには共通するものを見ていたが審査員一同が驚いた。残念なことに住人との調整ができず内部を体験することができなかった。

「八田家住宅」

若い陶芸家の仕事場と家族の住まいである。外観は伝統的な瓦屋根に木造軸組により安定した景観の形成に貴重な役割を果たしていた。空間はアドルフ・ロースのラウムプランを彷彿させる立体的な回遊性のある豊かな空間を感じることができた。斜面に立地することからも、仕事場の床下には大きな束立て空間が出来ていたが、この部分がより積極的に生活の一部に取り込まれてもよかったのではないか。

最後に最近気になっている事を記しておきたい。建築設計や建築の質を高める事は重要なことであるが、その一環として様々な分野においてデザインビルドやBIMなどが関心を集めている。しかし、これらは共に建築を具体化するための方法の１つであり、方法が目的化し本来の目的である質とは何かを忘れては問題である。今回の審査においても、多くの設計者による様々な取り組みの成果を知る事が出来てとても参考になった。ひとり一人の設計者が建築の質を高める事を忘れずに、そして多くの人が建築の魅力を感じられるようにしたい。新潟の旧家で見た東山魁夷さんの色紙にあったことばを記して終わる。「古い家のない町は　想いでの無い人間と同じである」、長らく使われ記憶に残る建築が多く作られることを願う。

**審査風景**

# 第 61 回大阪建築コンクール入賞発表

主催／公益社団法人大阪府建築士会　後援／大阪府

| | | | |
|---|---|---|---|
| ■大阪府知事賞部門 | 大阪府知事賞 | 今井町の家 | 横関正人・横関万貴子 |
| | | つつじヶ丘の家 | 柳川賢次 |
| | 特別賞 | ダイキン工業 テクノロジー・イノベーションセンター | 児玉　謙 |
| ■渡辺節賞部門 | 渡辺節賞 | 該当作品なし | |
| | 奨励賞 | 西三国の家 | 堤　庸策 |

**趣旨**

建築士はその職責を通じて地域社会の発展に寄与し、建築美を通じて建築文化の向上、ひいては地域文化の振興にも寄与していく必要があり、その責務は重大である。

大阪建築コンクールは、建築士と社会とのかかわりを通じて建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者である大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の設計者を表彰する。同時に行う渡辺節賞については、新しい建築文化の原動力となる若い優れた設計者をたたえ、さらなる発展を望むものである。

**募集範囲**

2012 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日の間に竣工し、完了検査済証の交付を受けた建築物

＊建築確認申請不要物件は完了検査済証不要

＊竣工年月日は工事完了時

●大阪府知事賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない

建築位置：近畿二府四県

応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者

●渡辺節賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない

建築位置：近畿二府四県

応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者
完了検査済証発行日現在 39 歳以下

**審査委員会**

委員長　遠藤秀平（神戸大学大学院教授）

委　員　越智正一
※50音順　（前 大阪府住宅まちづくり部公共建築室室長
現（公財）大阪府都市整備推進センター常務理事）

阪田弘一（京都工芸繊維大学准教授）

下山　聡（下山建築設計室）

鉾井修一（京都大学名誉教授）

**審査**

応募数　大阪府知事賞部門 27 点
渡辺節賞部門 16 点

審査委員会 3 回

●第 1 次審査

2 月 20 日　書類・図面、写真によって、大阪府知事賞部門 7 点、渡辺節賞部門 3 点を選考

●第 2 次審査

3 月 14 日、30 日　第 1 次審査通過作品について現地審査を 2 日間実施

●最終審査

3 月 30 日　第 2 次審査終了後に実施

大阪府知事賞部門：大阪府知事賞 2 点、特別賞 1 点、渡辺節賞部門：奨励賞 1 点を選出

**表彰式**

とき　平成 29 年 5 月 25 日（木）
本会定時総会式典席上

会場　ホテル大阪ベイタワー・4 階

審査経過並びに総評

審査委員長
遠藤 秀平

大阪建築コンクールの 61 回目の新たなスタートの審査に立ち会う事になった。思い起こせば 45 回の渡辺節賞を受賞したのが 25 年前になる、審査委員は何度か努めたが審査委員長となると荷が重い。最初はどのような審査になるか予想もできなかったが、審査委員のみなさんがそれぞれの立場で貴重な意見を出していただき、スムーズな合議で結論に至ったのではないかと思う。

今回は知事賞部門に 27 作・渡辺節賞部門に 16 作の応募が有り、まずは書類による 1 次審査を行なった。審査員全員そろい自己紹介のあと、評価の基準について意見交換を行い、事務局にもこれまでの審査を確認しながら準備を整えた。その後は各自が提出されたファイルを見て回り、その中から現地審査の候補となる 2 ～ 3 作を選んでもらうことにした。その後、審査員全員から推薦候補作を出してもらい、それぞれについて各自がコメント行った。途上評価する点と気になる点を話題として、再度推薦の意思を確認し絞り込みを繰り返して行った。また、これらの途上では各作品の設計者名は非公開であった、後日談であるがこのために渡辺節賞候補には同一設計者の作品が 2 つ入っていることに皆が驚かされた。

1 次審査で渡辺節賞候補 3 作・知事賞候補 7 作を選定し、全審査員が参加し 2 日間で 10 作について現地審査を行った。現地審査 2 日目の最後に建築士会事務局に戻り最終審査会を行った。まず各自が知事賞候補と渡辺節賞候補を 1 作ずつ推薦し、意見分布を確認した上で議論と絞り込みを行うことにした。最初に知事賞候補作の絞り込みを行い、まず「今井町の家」の伝統的な町家に対する地道な取り組みが全員の評価を受け決定となった。また、この時点では複数の候補が残っていたが意見がまとまらないため先に渡辺節賞の選定を行うこととした。渡辺節賞候補 3 作から、積極的閉鎖による住環境を実現した「西三国の家」のチャレンジ性に評価が集まったが、コンセプトと

## ■大阪府知事賞部門　特別賞　ダイキン工業 テクノロジー・イノベーションセンター

設計者　児玉　謙（株式会社日建設計）

撮影　清水向山

建築位置／大阪府摂津市
建物用途／研究所・事務所
建 築 主／ダイキン工業株式会社
施 工 者／株式会社竹中工務店
竣工年月／ 2015 年 11 月

構　　造／鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造
階　　数／地上 6 階・地下 1 階・PH2 階
敷地面積／ 396,666.66㎡
建築面積／ 11,839.01㎡
延床面積／ 47,911.86㎡

〈審査講評〉自然エネルギーも活用しながら極めて高い省エネ性能を達成していることはもとより、新たな機器の取付け実験や、複数の空調方法による室内環境の比較検証が可能となる工夫を行うなど、オフィス自体が実験室になっている。また、イノベーションを生み出す場として、2層のフロアの中央・中間に異なる部門の研究者がいつでも集まれるオープンステージを配置しており、活発なコミュニケーションを誘発する執務空間としても評価された。　（審査委員　越智正一）

児玉　謙
1963年生まれ
1982年4月 京都大学工学部建築学科入学
1986年3月 京都大学工学部建築学科卒業
1986年4月 京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程
1988年3月 京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了
1988年4月 株式会社日建設計入社
2005年1月 株式会社日建設計 設計室長
2009年1月 株式会社日建設計 設計部門副代表・設計部長
2009年4月 立命館大学理工学部建築都市デザイン学科非常勤講師
2015年1月 株式会社日建設計 執行役員設計部門代表　現在に至る
［主な建築作品と受賞歴］
2003年3月　オムロン京阪奈イノベーションセンタ
日本建築学会作品選集2005、第1回日本建築家協会優秀建築選
2004年9月　神戸栄光教会
日本建築学会作品選集2007、第31回日事連建築賞、第7回人間サイズのまちづくり賞、第9回神戸市建築文化賞、第19回神戸景観ポイント賞
2007年12月 INAX大阪ビル（現日本ピラー工業）
日本建築学会作品選集2010、第4回日本建築家協会優秀建築選、第29回大阪都市景観建築賞
2008年10月 ろうきん肥後橋ビル
日本建築学会作品選集2011、第5回日本建築家協会優秀建築選、第12回JIA環境建築賞、第3回大阪サステナブル建築賞、CASBEE OF THE YEAR 大阪 2008、第30回大阪都市景観建築賞
2012年11月 新日鐵住金技術開発本部尼崎研究開発センター
日本建築学会作品選集2015、第10回日本建築家協会優秀建築選、第9回まちかどチャーミング賞
2015年6月　新居浜市あかがねミュージアム（新居浜市総合文化施設・新居浜市美術館）
日本建築学会作品選集2017、2016年度日本建築家協会優秀建築選

## ■渡辺節賞部門　奨励賞　西三国の家

設計者　堤　庸策（arbol）

撮影　下村康典

建築位置／大阪市淀川区
建物用途／戸建住宅
建 築 主／阪本　勲
施 工 者／株式会社住まい設計工房
竣工年月／ 2013 年 6 月
構　　造／木造
階　　数／ 1 階
敷地面積／ 169.24㎡
建築面積／ 91.70㎡
延床面積／ 91.70㎡

堤　庸策
1979年生まれ
1998年3月 国立阿南工業高等専門学校高等課程修了
2002年3月 アートカレッジ神戸インテリアデザイン学科卒業
2002年4月 田頭健司建築研究所入所
2006年3月 フリーランス活動開始
2009年2月 arbol（アルボル）設立
2010年2月 arbol（GREEN BLUE株式会社）に法人化
［主な建築作品と受賞歴］
2012年 阿倍野の家／2013年 西三国の家／2014年 鳳の家／
2015年 生駒の家／2016年 KIITO公共施設オープン・リノベーション
2011年 DSA日本空間デザイン協会 ディスプレイデザイン協会特別賞 地域賞
2012年 JCDデザインアワード 金賞（共同設計:mtds 高橋真之）
2014年 GOOD DESIGN AWARD
2015年 総務省主催「公共施設オープン・リノベーション マッチングコンペティション」採択
2016年 American Architecture Prize/AAP 2016（アメリカ建築賞）
ARCHITECTURAL DESIGN > Small Architecture 銀賞
2016年 American Architecture Prize/AAP 2016（アメリカ建築賞）
ARCHITECTURAL DESIGN > Small Architecture 銅賞

〈審査講評〉外からの視線とともに内から外への視線に配慮し光と風を取り入れること、それが若い建築家が意を注いだことであった。スギ板の塀にスリットを入れ、その幅を中央から左右にいくほど狭くし、角度により外の景色、光の入り具合を微妙に変化させた。開けた周辺環境の下で囲うことが最適な解だったのか、計画的にも環境工学的にも問題を提起する作品であり、このコンセプトがどのような展開を見せるか、今後が楽しみである。　（審査委員　鉾井修一）

審査風景

## 平成28年度 大阪建築コンクール基金出捐者リスト

前大阪府住宅まちづくり部　堤　勇二
岡本　森廣　　越智　正一　　樫永　一男
金森秀治郎　　竹原　義二　　中嶋　節子
長谷川総一　　都窯業株式会社　河原　輝雄
森田一弥建築設計事務所
瀧　梢　　（50音順 敬称略）

大変ありがとうございました。
本コンクールの募集・審査・表彰・講演会等の運営に充てさせていただきます。
（公益社団法人大阪府建築士会建築表彰委員会）

## ■大阪府知事賞部門　大阪府知事賞　今井町の家

設計者　横関正人・横関万貴子（一級建築士事務所 有限会社 NEO GEO）

建築位置／奈良県橿原市
建物用途／戸建住宅
建 築 主／田原勝則・田原幸子
施 工 者／株式会社岩鶴工務店
竣工年月／ 2013 年 3 月

構　　造／木造伝統工法＋耐震補強フレーム
階　　数／地上２階
敷地面積／ 255.58㎡
建築面積／ 133.36㎡

延床面積／ 169.69㎡

撮影　絹巻　豊

横関正人
1962年生まれ
1980年 福井工業大学工学部建設工学科入学
1984年 福井工業大学工学部建設工学科卒業
1984年 ㈲コンコード建築設計事務所入社
1991年 横関正人建築研究所設立
1994年 ㈲NEO GEO設立 代表
1996年 ㈱まちづくりワークショップ共同設立
1998年 横関正人／㈲NEO GEO 代表　現在に至る
［主な建築作品と受賞歴］
大野台の家／第5回リフォーム・リノベーションコンクール 大阪府知事賞
今井町の家／平成28年日本建築士会連合会賞 奨励賞
富田林じないまち 木くま館／第35回大阪都市景観建築賞（大阪まちなみ賞）奨励賞
ナサホーム本社／梅田リフォームスタジオ
パイロシステムガラス防火区画デザイン・コンペ 準優秀賞
路地のある寺内町の家／第4回建築人賞 奨励賞

横関万貴子
1964年生まれ
1990年 大阪藝術大学藝術学部建築学科入学
1994年 大阪藝術大学藝術学部建築学科卒業
2001年 三木万貴子建築設計室設立
2001年～ ㈲NEO GEO
2012年 京都大学農学研究科森林科学卒業
同博士課程後期在学中
（生存圏研究室 生活圏 構造機能分野）

［主な建築作品と受賞歴］
横関正人と同じ

〈審査講評〉築 200 年を経過した民家の、耐震補強を伴う改修工事である。既存架構がもつ特性にあわせ、必要以上に剛性を高めることより靭性の向上に主眼を置いている。実大実験により性能が確認された補強フレームは、木のめりこみに期待した格子壁に上下境界梁の曲げ戻し効果を加え、より靭性を高めている。バランスよく配置された格子補強フレームを積極的に現し、意匠的にも調和させている点が評価された。　（審査委員　下山　聡）

## ■大阪府知事賞部門　大阪府知事賞　つつじヶ丘の家

設計者　柳川賢次（有限会社柳川賢次建築設計事務所）

建築位置／兵庫県神戸市
建物用途／戸建住宅
建 築 主／岸本　真・岸本芽子
施 工 者／株式会社フナビキ工務店
竣工年月／ 2013 年 11 月
構　　造／鉄筋コンクリート造＋木造併用混構造
階　　数／地上２階
敷地面積／ 198.23㎡
建築面積／ 92.40㎡
延床面積／ 133.17㎡

撮影　浅田美浩

柳川賢次
1954年生まれ
1973年4月 大阪工業大学工学部建築学科入学
1977年3月 大阪工業大学工学部建築学科卒業
1977年4月～1978年3月
大阪工業大学工学部建築学科研究生
1977年4月 瀧光夫建築・都市設計事務所入社
1983年3月 瀧光夫建築・都市設計事務所退社
1983年10月 一級建築士事務所 柳川賢次建築設計事務所開設
1988年4月 ㈲柳川賢次建築設計事務所に商号変更
現在に至る
［主な建築作品と受賞歴］
1992年「神戸・狩口地域センター設計競技」最優秀賞
1995年「神戸・狩口地域センター」第10回日本建築士連合会賞 奨励賞
1996年「神戸神仙閣」
1999年「ふるさとの木で住宅を」おおさか型モデル展示住宅設計コンペ 最優秀賞
2006年「ツリーハウス」American Wood Design Awards 2006 優秀賞
2009年「舞多聞の家 a-1」日本建築家協会優秀建築選
2011年「地 chicken BAR ひなのや」第1回神戸市都市デザイン賞 景観ポイント賞

〈審査講評〉モダニズムに則った完成度の高い室内外空間。更に注目すべきはその建ち方にある。敷地を含む一角はひな壇型で、北側道路、南側道路を挟んで向かいの敷地とは共に３m程の高低差があり、南側道路沿いには片側に擁壁、片側に住宅が連なる閉鎖的街並みが続く。この住宅は文字通りその街並みに風穴を開ける。キャンチレバーの浮遊感も相まって、南北を貫くアプローチは近隣住民のアクティビティに開かれていく公共的価値を感じさせる。（審査委員　阪田弘一）

# 理事会報告

平成29年度役員名簿　＊は委員長

会　長　岡本森廣　全日本コンサルタント㈱技術部調査役
副会長　上田茂久㈱上田茂久建築設計工房代表取締役
　　濵田　徹㈱イリア関西事務所長
　　田中義久㈱田中都市建築事務所代表取締役
　　中嶋節子　京都大学大学院人間・環境学研究科教授
　　石貫方子　パナソニック㈱コラボレーションズ社ウジングシステム事業部戦略企画室総括主幹
理　事　相原康隆　栗原工業㈱技術統括部技術部課長
　　荒木公樹㈱空間計画㈱代表取締役
＊飯田英二㈱IMOデザイン代表取締役
　　岩岸克浩㈱イワギン取締役
　　大附一彦　新建設工業㈱代表取締役
　　尾鍋裕実　尾鍋建築設計事務所代表
　　北野幹夫　大阪市都市計画局開発調整部開発誘導課長
　　木村吉男　杉本建設㈱常務取締役
　　熊田將男㈱安井建築設計事務所工事監理部長
　　黒川宗範㈱大林組大阪本店建築事業部プロジェクト設計部副部長
　　小谷美樹　積水ウス㈱経営企画部ダイバーシティ推進室部長
　　阪田晴宏　阪田設計工房主宰
　　昇　勇　昇設計室代表
　　曽我部千鶴美　With建築工房一級建築士事務所代表
　　田代加奈㈱環　取締役
　　巽　泰滋㈲巽工務店代表取締役
＊田中克之　一級建築士事務所　設計TANAKA所長
　　田中光典㈱竹中工務店大阪本店設計部長
　　田鍋　稔　鹿島建設㈱建築設計部企画管理グループ設計主査
　　辻井光憲　大和ハウス工業㈱建築設計部課長
　　寺地洋之　大阪工業大学工学部建築学科教授
＊徳岡浩二㈱徳岡設計代表取締役社長
　　西野智子　ZERO&NiS（ゼロアンドエス）一級建築士事務所代表
　　沼田　亘㈱昭和設計代表取締役会長
　　橋本頼幸㈱こま設計堂代表取締役
　　平井浩之　大成建設㈱設計部長
　　牧野隆義㈱テンフォーテン（10 for 10）代表取締役
　　松村和吉㈱松村設計代表取締役
　　水谷　敢㈱Ms代表取締役
　　室木　裕　アトリエカラス代表
　　森田茂夫　アトリエクレオ主宰
　　守屋一之　守屋建築事務所代表
　　山添光訓　大阪府住宅まちづくり部建築指導室長
＊山地康夫
＊山城健児　コーナン建設㈱取締役常務執行役員営業本部長
＊横田友行㈱能勢建築構造研究所代表取締役社長
　　吉野俊一㈱銀治田工務店参事
＊芳村隆史㈱碧ーAO一建築事務所代表取締役
専務理事　杉原　繁（公社）大阪府建築士会専務理事
監　事　神保　勲㈱神保塗装代表取締役
　　七堂元敏（財）大阪建築防災センター建築確認検査機構執行理事機構長

# 建築相談室から 十四

繰り返される相談

文　橋本頼幸

## 二階の浴室から水漏れ

建築相談には日を変えて何度も繰り返し電話をしてくる相談者がおられます。多くが同じことを聞くのですが、まれに明らかに同じ人が違った聞き方、違う相談をすることもあります。電話担当の相談員が記録をつけていますが、そのときは同じ人だとわからず、後から同じ人だったことが判明することがあります。

大阪市内の築四十年を超えた木造三階建て戸建住宅にお住まいの方。一階のガレージの直上の二階に浴室があるようで、浴室を使っていなくても、雨が降っていなくても常にガレージの天井が湿っている。漏れる水の量は一日バケツ一杯半ぐらい。水道局に来てもらったが原因はわからず、水道局に聞いた業者に連絡するもいくら費用がかかるかわからないといわれ、消費者センターからの紹介で電話したとのこと。

## 相談員の回答

最初の相談員（後からわかるのですが、この相談員よりも前にも相談している）は、以下のように回答されたようです。

「水を流していない、雨も降っていないときに水が染み出るのは給水管の不具合の可能性が高い。業者も見てないのに答えようがないため「改修額がいくらになるかわからない」と答えるしかない。電話ではわからないので、建築士会の現地相談をおすすめする。放置すると建物にも良くないし、築四十年なので色々更新の時期だと考える。」

現地相談については、費用負担が心配なようで難色を示したようです。

## 次の日再び

記録では次の日に又電話をしています。次の日の相談員は「建築士か工務店に調べてもらう必要があります」と答えられたようです。

## 三回目の相談は十日後

二回目の相談の十日後。これまでの内容に加えて「水道メーターは回っていないようにみえる。夏でも同じように漏水がある。排水管に色水を流したが、漏水には出てこない。」とのこと。このときの相談員も、「給水管がひび割れしている可能性が高い。水道バルブと夜間の温水器のバルブをしめて様子を見てください。それで止まらない場合は給水系ではないと考えられるが今のところ思い当たらない。確認の上、再度相談してください。」と答えられたようです。

実は、この三回目の相談員は、以前も同じ人を聞かれたようで、それは約二ヶ月前でした。この最後の相談の後、相談は無いようです。

## なぜ同じ質問が繰り返されるのか

建築士から見た三人の相談員の回答はそれぞれ全く問題がなく、電話という限られた情報の中で出来る限りの回答をされていると感じます。また、現地相談などの案内もされておりこれ以上のアドバイスは無いと思える内容になっています。しかし、同じ相談が繰り返されました。相談を繰り返すのは、少なくとも相談者が納得していないことを意味します。相談者にとって専門家にいわれたので、言い返しにくかった、更に質問を重ねるのは難しかった（気が引けた）と思われ、後から考えたらやはり不安になることはよくあります。この相談者も調査費用や建物の維持管理にかかる漠然とした不安を抱えていながら、どう進めばいいのかわからなくなり電話をしたものの不安が解消できなかったとも考えられます。同じ相談を繰り返す人ほど、理解度・納得度を確認するようにしながら丁寧に対応しなければいけないと考えさせられます。

# 大阪ホンマもん解説

写真　田籠哲也　文　牧野隆義

大阪船場の中心部に瀟洒なレトロビルがある。青山ビルの西隣に建つこのビルは大正一二年（一九二三年）元々ホテルとして建てられた。設計は辰野片岡事務所出身の長田岩次郎氏が担当し、建物の構造は鉄筋コンクリート造三階建て（一部四階）で、当時は「澤野ビルヂング」として竣工した。その後、昭和初期にビルの所有者が替わり、ホテルからテナントビルへと用途が変わり、同時に現在の「伏見ビル」となった。

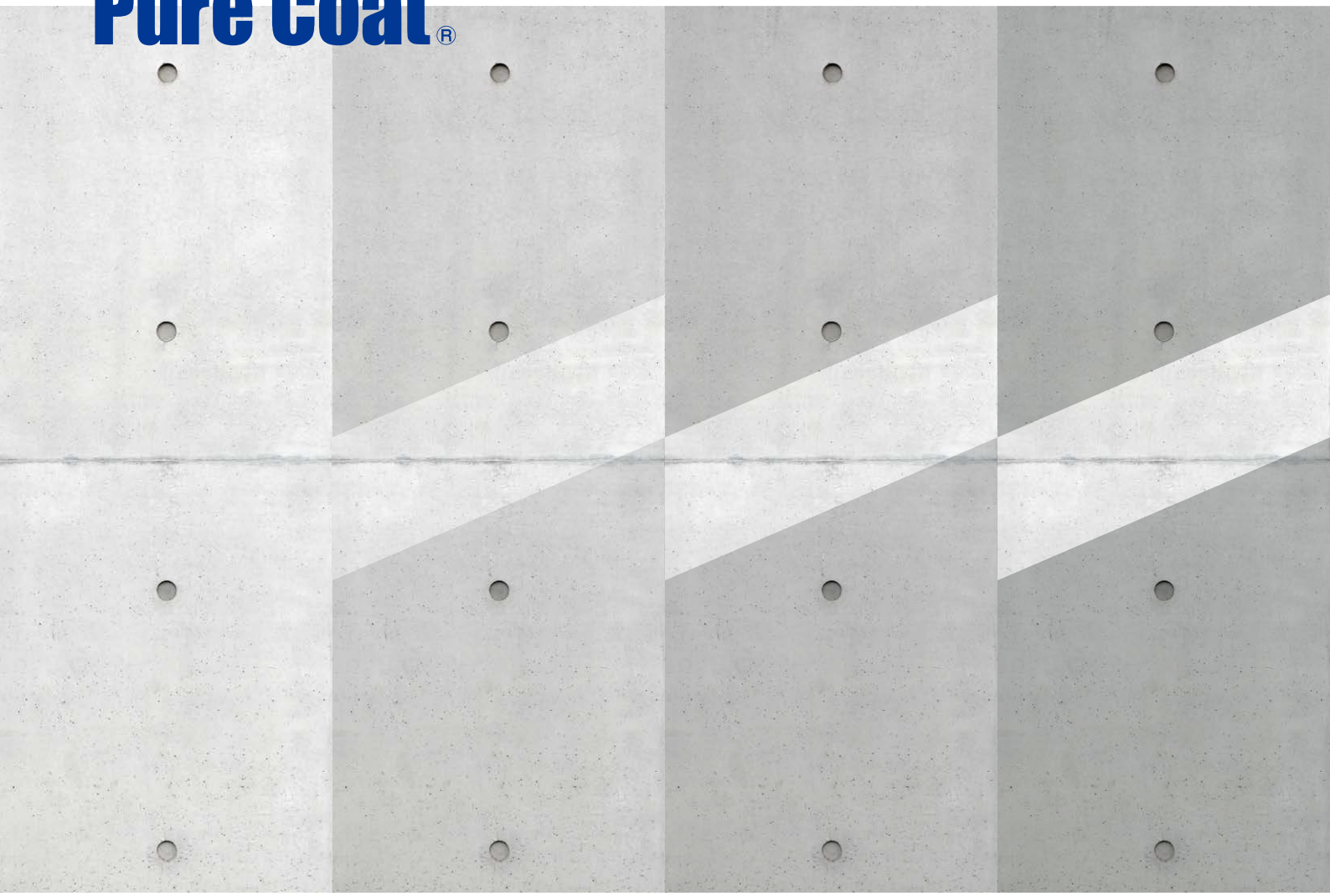
テナントビルには貿易関係の会社などの事務所だけでなく理髪店なども入居していた。近年は旅行代理店や飲食店、そしてオーナーが営むギャラリーが入居している。建物の外観はシンプルながら角をカーブさせ、三階の窓上には丸窓風の飾りを設けることで、気品ある柔らかな風合いを感じさせてくれる。手入れが行き届いたレトロビルは、今もって愛され続けている。


建築人　6
2017

監修　公益社団法人大阪府建築士会
　　建築情報委員会
編集　建築情報委員会『建築人』編集部
　　委員長　飯田英二
　　編集人代表　荒木公樹
　　編集人　河合哲夫　北　聖志
　　黒川祐樹　中江　哲
　　橋本頼幸　丸子勇人
　　牧野隆義
　　事務局　山本茂樹　母倉政美
　　印刷　中和印刷紙器株式会社

光と水のEconology

# Pure Coat®



## “見えない”が見えてくる。

ピアレックス・テクノロジーズが世界唯一の技術で光触媒とフッ素樹脂を
組み合わせたコーティング材「ピュアコート®」は、光と水の力で
外壁の汚染を防止・分解し、耐候性を高めます。
その効果はすぐには見えないけれど、時を経るごとに確実に見えてくるのです。
また、コンクリート外壁において、新築時のきれいな状態を維持するのはもちろん、
すでに劣化していても新築同様によみがえらせる施工が可能。
私たちピアレックス・テクノロジーズは、高い技術力で
建物をいつまでも美しく守る最適なソリューションをお届けします。

### “メーカー”の枠を超えた高度な施工。

**改修 ▷ G-PFシステム®** | 打ち放しコンクリート調描画工法光触媒コート仕上げ

老朽化した打ち放しコンクリート外壁を新築同様に再生。長年培った汎用性フッ素樹脂の技術を応用し、これまでほぼ不可能とされてきた技術を実現しました。

**新築 ▷ N-RCシステム** | フッ素樹脂光触媒クリアー仕上げ

独自の外壁コーティング材「ピュアコート®」を使用し、コンクリートの風合いをそのままに濡れ肌を防止し、その美観を長期間維持します。

※「ピュアコート®」・「G-PFシステム®」は株式会社ピアレックス・テクノロジーズの登録商標です。

株式会社ピアレックス・テクノロジーズ

［本　社］〒595-0016　大阪府泉大津市条南町4-14
Tel:0725-22-5361／Fax:0725-22-5363

［東京営業所］〒170-0005　東京都豊島区南大塚2-45-9
ヤマナカヤビル6F
Tel:03-5940-6075／Fax:03-5940-6076

［中部営業所］〒509-5301　岐阜県土岐市妻木町1674-1
Tel:0572-58-3166／Fax:0572-58-3167

www.pialex.co.jp

PIALEX TECHNOLOGIES

## 大野台の家　NEO GEO

大阪狭山市の狭山ニュータウンが出来た当時に建設された平屋の木造住宅のリノベーションである。

外観は和風住宅で当初は田の字型プランでその中の 2 室はすでに洋室に改修されていたが、その部分も含めての内部を全面改修した。玄関を入ると珪藻土の三和土仕上げとなっており、そのまま人が集え、外部デッキとも視線が繋がり広がりがあり、しっくいの壁がやわらかく包み込む空間となっている。土間の横の室には床が窯変レンガタイル張で薪ストーブが来客をもてなす。土間から一段上がるとプライベート空間で構造的に補強された空間を勾配天井とし一体感のある広い空間としている。料理好きな家族が使いやすく集えるキッチンとした。

現在、料理教室をされており、高齢化の進むニュータウンの中で地域への広がりや近隣の友人も集う空間として活用されている。

撮影：絹巻　豊　第８回建築人賞奨励賞受賞作品

■プロフィール

横関正人（よこぜき まさと）
1962 兵庫県生まれ
1984 福井工業大学工学部建設工学科卒業
1984 ㈲コンコード建築設計事務所
1991 横関正人建築研究所設立
1994 ㈲NEO GEO設立・代表

横関万貴子（よこぜき まきこ）
1964 大阪府生まれ
1994 大阪府藝術大学芸術学部建築学科卒業
2001 三木万貴子建築設計室設立
2001 ㈲NEO GEO
2012 京都大学農学研究科卒業
現 在 同博士課程後期（京大生存圏研究所生活圏構造機能学分野）在学中

■建物データ

設　　計：横関正人＋横関万貴子／NEO GEO
施　　工：アール・ワン
所 在 地：大阪府大阪狭山市
用　　途：専用住宅
竣　　工：2015 年 7 月
構造規模：木造平屋
敷地面積：344.74 ㎡
建築面積：118.15 ㎡
延床面積：116.34 ㎡

建築人　No.636　平成29年6月1日発行　発行人：会長／岡本森廣　発行所：公益社団法人大阪府建築士会　〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F　tel.06-6947-1961